

## 4. ペレニアルライグラス



写真提供：山梨県畜産試験場 岸田氏

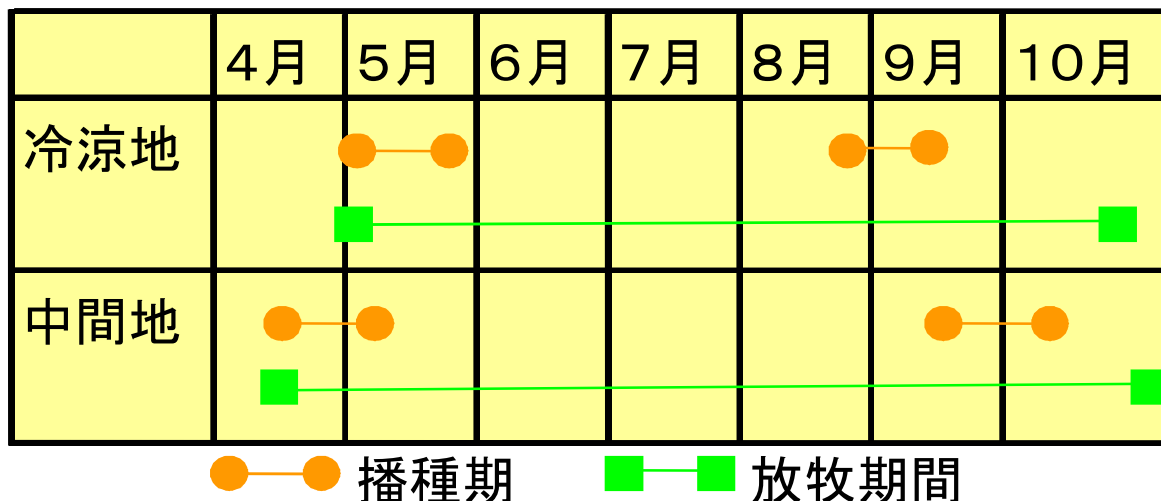
### 特徴

**搾乳牛や育成牛にも利用できる高品質牧草**  
(濃厚飼料並みのTDN含量)

**定着・初期生育に優れる**  
(蹄耕法に最適で、利用1年目に最大収量を示します)

**越夏性が劣る**  
(秋の追播による草地植生の維持が望ましい)

## 【栽培カレンダー】



## 【栽培ガイド】

- ・高温に弱いので、夏季の強放牧や播種は避けてください。
- ・裸地が出来たところには、秋に追播を行ってください。

### 1. 草地更新(全面)

畑に苦土石灰100kg/10aと堆肥3,000kg/10aを入れ、播種前2週間を目安に耕起します。

元肥として化成肥料を入れ、種子2～3kg/10aを播種し、鎮圧します。

#### 【施肥例(kg/10a)】

	N	P	K
施肥量	4-8	4-8	0-8

### 2. 草地更新(蹄耕法)

前植生の植物を、強放牧により、土が見える程度まで採食させます。

施肥量は、全面更新と同じで、種子は倍量(4～6kg/10a)を播種し、放牧を継続して牛により数日間踏ませます。

その後、放牧を中断し、草丈が30cmになったら放牧を行います。

### 3. 施肥管理

放牧牛の糞尿だけでは、養分が不足しますので、数回に分けて追肥します(窒素成分で3kg/回以下に)。

放牧によりカリが集積することがありますので、その時は、カリを減らします。苦土石灰についても、必要に応じて施用します。

【施肥例(kg/10a)】

	N	P	K
施肥量	10-20	0-20	0-20

### 4. 放牧期間

春の生育が旺盛なので、早期(桜の開花時期)に放牧を開始します。

放牧終了は、10月末までとします。それ以上放牧すると、春の収量に影響が出る場合があります。

放牧方法は、草丈が30cmになったら放牧を行い、生産性を高めるためには、毎日転牧する短期輪換放牧が適しています。

### 5. 草地管理

雑草制御は、適切な管理により、裸地を作らず、雑草種子を落とさないことが最重要です。

雑草割合が低い場合は、雑草の結実前に刈り払うか、除草剤により部分的に防除を行います。雑草割合が高い場合は、全面更新を行うことが望まれます。

裸地ができた場所は、部分的にペレニアルライグラスを追播し、蹄耕法による更新を行います。

### 6. 利用関連

ペレニアルライグラスは、暑さに弱く比較的永続性が短いので、毎年秋に追播し、蹄耕法による部分的な草地更新が望まれます

短期輪換放牧は、選択採食や踏み倒しを減少させると共に、短草利用は、栄養価が高いため利用効率が向上します。

春と秋の生産性が高く、夏の生産性は低いので、季節により放牧面積を調整すると、草地の利用率が向上します。

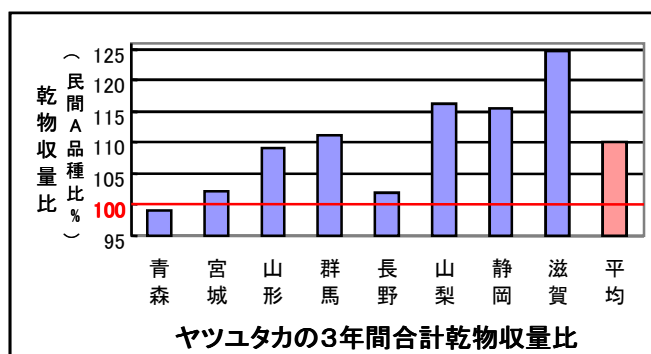
## ペレニアルライグラス優良品種

# 越夏性を改良した放牧用品種 「ヤツユタカ」

### 1. 品種の特徴

越夏性を改良し、収量性に優れた晩生放牧用品種

### 2. 特性



夏季および年間収量に優れます。



### 3. 栽培適地

夏季の高温で枯れることがあるので、標高500m以上の地域において、小面積で適応性を確認してからご利用ください。

### 4. 栽培のポイント

夏季の強放牧は控えます

毎秋の追播による草地植生の維持が望まれます

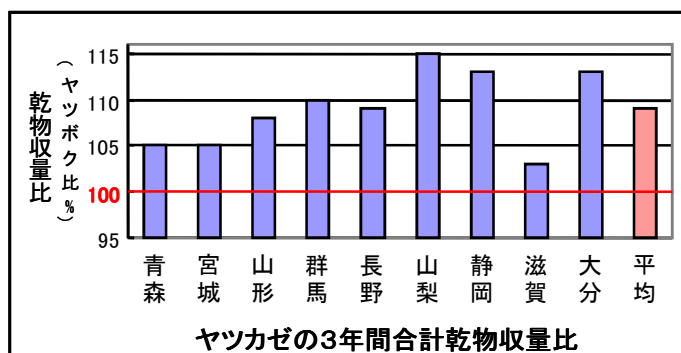
## ペレニアルライグラス優良品種

# 越夏性を改良した放牧・採草兼用品種 「ヤツカゼ」

### 1. 品種の特徴

越夏性を改良し、収量性に優れた採草・放牧兼用品種

### 2. 特性



夏季および年間収量に優れます。



### 3. 栽培適地

夏季の高温で枯れることがあるので、標高500m以上の地域において、小面積で適応性を確認してからご利用ください。

### 4. 栽培のポイント

採草利用する場合は、倒れやすいので刈り遅れない  
(出穂期に刈り取りを行います)

毎秋の追播による草地植生の維持が望まれます

## ペレニアルライグラス利用のおすすめ技術

### 定着・初期生育が良いことを利用して、

#### ・経年草地のリフレッシュ



山梨県畜産試験場 岸田氏写真提供

#### ポイント

・蹄耕法により、機械が無くても、草地のリフレッシュが可能です。

・経年草地の栄養価・収量性が高まります。

#### ・耕作放棄地での簡易草地造成



#### ポイント

・蹄耕法により、安価・簡便に牧草地造成が可能です。

・秋に造成すれば、次年度春から牧草地として利用できます。

肥料は忘れずに、施用してください。

## ペレニアルライグラス利用のおすすめ技術

### 栄養価・収量性が高いことを利用して

#### ・小面積での集約放牧技術



#### ポイント

・短期輪換放牧により、草地利用効率が向上します。

・放牧地の面積が少ない、本州の放牧に適します。

#### ・放牧搾乳技術



#### ポイント

・短草利用すれば、栄養価が高いため、搾乳牛にも利用できます。

・濃厚飼料が低減できるため、飼料費削減が可能です。

平成17年度畜産草地成果情報 畜産草地研究所・放牧管理部  
集約放牧の導入により、草地面積10a／頭程度の時間制限放牧でも平均的乳量水準の乳牛群であれば、購入飼料から供給される蛋白質量を2割程度節減できます。

## その他

放牧や草地造成については、多くのマニュアル等があります。以下に一部ではありますが、資料をご紹介しますので、参考にしてください。

### 小規模移動放牧マニュアル

畜産草地研究所

<http://nilgs.naro.affrc.go.jp/pub/pub.html#news> よりダウンロード可能

### 集約放牧

北海道農業研究センター

<http://cryo.naro.affrc.go.jp/kankobutu/syuyakumanyuaru/syuyaku.pdf>

### 山口型放牧を取り入れた繁殖経営のすすめ

山口県畜産試験場

<http://yamaguchi.lin.go.jp/houboku2006.pdf>

### 天北・放牧の手引き

北海道上川農業試験場

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/tenpoku/magazine/grazinghandbook/grazinghandbook.pdf>

### 草地更新

日本草地畜産種子協会

[http://souchi.lin.go.jp/skill/manual/grassland\\_01.html](http://souchi.lin.go.jp/skill/manual/grassland_01.html)

### 草地の簡易更新マニュアル

北海道農政部他

<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/sintoku/souchi/seika/kanikousin/kkmanual1.pdf>

### 放牧と粗飼料を多給した畜産物の特徴

日本草地畜産種子協会グラス&シード 2007/08 第20号

[http://souchi.lin.go.jp/skill/grass\\_seed/](http://souchi.lin.go.jp/skill/grass_seed/) よりダウンロード可能

問い合わせ先(ペレニアルライグラス関係)

名称 山梨県酪農試験場 草地環境科

農林水産省牧草育種指定試験地

住所 山梨県北杜市長坂町長坂上条621-2

電話 0551-32-3216

FAX 0551-32-5967

E-mail [rakushi@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:rakushi@pref.yamanashi.lg.jp)

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/rakushi/index.html>